

大凧 便り 第200号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界凧博物館東近江大凧会館 令和5年1月19日発行
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号
TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860
IP: 050-5801-1140
開館時間: 9時~17時 休館日: 水曜日、第4火曜日、祝日の翌日
平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

祝新成人 20 畳敷大凧「ウキウキワクワク」飛揚

新成人の男性約50人が引綱を持ち、大凧保存会会長の太鼓の合図で一斉に走り、大凧を舞い揚げました。大凧の絵柄は、兎(うさぎ)年にちなんで上部に兎を二羽、背景に木の年輪を描き、下部に「湧」の文字と数字の「2」が書かれ、『ウキウキ(兎木兎木) ワクワク(湧2)』と読ませます。



~たくさんのご参加ありがとうございました。~

三新春凧揚げ大会を開催しました。三



新しい年が明けて早くもひと月が過ぎようとしていますね。皆さんお正月休みはどのように過ごされましたか。大凧会館は年明け1月3日から開館だったのですが、たくさんの方がご来館いただきました。お正月といえばやはり「凧」ですからね。

1月8日(日)は、東近江市の成人式の日、昨年と同様に新成人を祝う「成人の大凧揚げ」に合わせて、「新春凧揚げ大会」を聖徳中学校グラウンドで開催しました。心配していたお天気も荒れることなく、太陽が顔を見せてくれました。

早くから親子連れやご家族が来られ、持参した凧を揚げておられました。中には大凧会館の凧作り教室で作った「カトムシの凧」「サンタクロースの凧」「兎の干支凧」などもあり、よく揚がっていました。先着50名で行った星のカイト作りも大盛況でした。子ども達は作った凧を持って、早速グラウンドで凧揚げ開始です。「なかなか凧揚げができる場所が無くて、このイベントがあると知って来ました。」とはるばる県外から来ていただいた方もおられました。凧がうまく揚がると、皆さん凧を見上げながらとてもいい笑顔をされていました。小学生以下のお子さんには、大型サイコロを振ってもらい、出た目の数だけのみかんをプレゼントのコーナーがあり、いくつが出るかドキドキワクワクしながら楽しみました。これからこの「新春凧揚げ大会」が皆さんのご家庭の年間行事に入れていただくと嬉しいです。



飛揚祈願 竜頭に御神酒をかけます。



大空高く飛揚しました。(ウキウキワクワク)



チャレンジ”大凧”の8畳敷大凧も舞い揚げました。



大凧会館ブログ <https://oodakomuseum.shiga-saku.net/c62240.html>
飛揚動画 <https://youtu.be/-yBxz-9KfsU>

ちいさなたびいち2022 ～揚げてよし 飾ってよし～

二千支「兎」の親子凧作り教室



東近江市の暮らしに息づく小さな「幸せ」を集めた体験プログラム「ちいさなたびいち2022」の参加事業である今年の干支「兎」の絵を描いた凧作り教室を12月25日(日)に午前と午後の部の2回に分けて行いました。六角形に切取られた紙に、用意した兎の絵柄3種類から好きな絵を選んで描きます。下絵が出来上がったら、思い思いの色を塗っていきます。オリジナルの絵柄を描く子どももいました。出来上がったら乾かして、凧の裏に接着剤を使って竹を貼り、しっかりさせるために重なっている部分は糸でしっかりとくくりまます。凧を反らすための糸とあげ糸を取付けて完成しました。みなさん、お正月に揚げられたことと思います。



一兎の張り子絵付け教室



今年、雪のないお正月でした。2023年卯年です。では、ここで問題です。兎を数える時の単位は何でしょう？兎を数えるときは「1羽・2羽・・・」と数えます。数える由来には諸説ありますが、その1つに兎の耳が大きくて長い。鳥の羽に見えるためとする説があります。翼のような長い耳で、羽ばたくようにピョンピョンと今年が飛躍の年になればいいと思います。



さて、12月から引き続き行われている「冬の体験教室」。1月9日(月・祝)には、「兎の張り子絵付け教室」が開催されました。小学生から大人の方のグループなど、それぞれ好きな色を使って兎の張り子に絵付けをされていました。張り子はでこぼこが多く、色付けに苦労したという意見もありましたが、みなさん集中して自分だけのオリジナル兎を完成され、大満足のご様子でした。昨年の寅の絵付けに参加された方もあり、干支の張り子絵付けに“はまる”方も増えそうです。来年もまた参加していただけたらうれしいです。

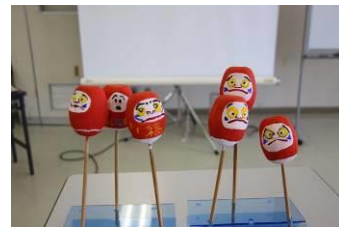
二2023年2月の予定

- 11日(土)まで ビックリマンスタンプラリー
- 12日(日)まで 「鬼退治!! 鬼の凧展」
- 7日(火) 館内清掃(別館)
- 8日(水) 館内清掃(本館)
- 16日(木) 八日市北小学校4年凧作り
- 17日(金)～4月23日(日) 福よせ雛
- 19日(日) 家族ふれあいサンデー
- 25日(土) アル・プラザ八日市” 東近江市・いなべ市フェア “
- 26日(日) アル・プラザ八日市” 東近江市・いなべ市フェア “

三近江だるま絵付け教室



1月15日(日)午前10時から、「近江だるまの絵付け教室」を、近江だるま保存会の皆さんの指導をいただき、開催しました。「白い張り子のだるま」に顔の下絵を仕上げた後から色を塗っていきます。色は、一色塗るごとにドライヤーで乾かす作業で繊細なものとなります。最後に朱色を塗り完成となりました。顔を描くのは非常に難しそうでしたが最後の朱塗りをすれば、「だるま」らしくなり、皆さん、出来栄に満足していただけたと感じました。完成した「だるま」は個性的でかわいく、魅力的なものばかりでした。



「近江だるま」とは、東近江市に伝わる張り子の郷土玩具で、旧能登川町佐野で大正時代の初期に画商の寺井大門さんが制作を始め、当時縁起物として親しまれていたそうです。一時廃絶しましたが、地元有志が郷土玩具として魅力ある近江だるまを未来に継承しようと、平成9年に近江だるま保存会を発足され活動されています。

三ビックリマン スタンプラリー



期間:令和5年2月11日(土)まで

ビックリマンチョコは皆さんご存知ですよ！国内唯一生産しているのは、近江八幡市にあるロッテ滋賀工場というのをご存知ですか。販売45周年を記念して、東近江地域観光振興協議会(近江八幡市/東近江市/日野町/竜王町)とロッテがコラボして、ビックリマン限定BIGシールがもらえる周遊スタンプラリーが、2月11日(土)まで開催中です。東近江大凧会館も協賛店で入口に幟(のぼり)が掲げられています。協賛店で500円以上ご利用いただくとスタンプを押印させていただきます。詳しくは、東近江地域観光振興協議会のHPをご覧ください。



<https://shiga-eastomi.amebaownd.com/>

迫力満点！兎が描かれた凧を展示

三鬼退治!!「鬼の凧展」



鬼はそと〜♪福はうち〜♪。2月3日は「節分」です。東近江大凧会館では、2月3日の節分にちなみ、武将が鬼退治をする絵柄の凧や涙を流すのを表す紅白の房を鬼の目に取り付け、「優しい心も持って鬼のように強く育ててほしい」という子どもの成長を願った「見島鬼ようす」(山口県)などを展示します。(ようすとは凧のこと)また、NHK朝ドラ「舞い揚げれ」で登場した縦5mの大きさがある「バラモン凧(長崎県)」も展示します。



開催期間 令和5年1月26日(木)から2月12日(日)まで
期間中の休館日 水曜日

笑顔と福を呼ぶ「福よせ雛(ひな)」



東近江大凧会館では、昨年参加した「福よせ雛プロジェクト」に参加をします。福よせ雛とは様々な事情によりご家庭で飾ることが出来なくなり、手放さなければならないお雛様を「もう一度何かの役に立ててほしい」という持ち主様の思いを受けて平成21年に名古屋で発案されました。同23年には名古屋市「文化のみち 二葉館」において日本で初めて「福よせ雛(日常生活をするおひな様)」の展示が始まり、以後、プロジェクトの趣旨に賛同する団体や地域・施設とともに年に一度「福よせ雛」が開催され、今年(令和5年)で第13回を数え、名古屋を中心に、愛知県・岐阜県・北海道・岩手県・滋賀県・兵庫県・鳥取県・広島県などで開催されています。開催期間 令和5年2月17日(金)から4月23日(日)まで
期間中の休館日 水曜日、祝日の翌日、第4火曜日

